

【保育基礎】（家庭科/自由選択科目）

第1回目の授業はオリエンテーションの後、「遊び」を実体験しました！

乳幼児期のさまざまな年中行事の経験は、その後の生涯わたる学びにおいて大切な意味を持ちます。四季を感じられる遊びには、どのようなものがあるか挙げてもらいました。

<春>ひな祭り(人形を飾る)、子どもの日(こいのぼりづくり)、花かんむりづくり、よもぎ摘み(だんごづくり)

<夏>七夕飾り、水遊び、虫取り、花火、星空観測(年中)

<秋>どんぐり・松ぼっくり拾い、ハロウィン、七五三、紅葉で貼り絵

<冬>クリスマス飾り、お正月、凧揚げ、雪遊び

今の季節(4月)は、シロツメクサやたんぽぽの季節です。早速、グラウンドへ出て、花かんむりづくりを楽しみました。



今年は、芝刈りが先になりシロツメクサが刈られてしまいましたが、やり方さえ覚えていれば大丈夫！次は、子どもたちの先生になってやり方を教えてあげて楽しませてあげよう！

なんといってもお兄さん・お姉さんが楽しんでいることが子どもたちにとって大切なことです。高校生になったこれからも沢山遊んで、子どもたちをどう楽しませようか、遊び方をどう教えたらいいか、考えていきましょう！

子どもたちと一緒に遊べるレパートリーを増やして行ってほしいと思います。



教室へ戻って、最後は新聞紙で折紙。

大人もかぶれる「大将かぶと」(吹き返しが豪華です)

自分でも難しかった~という人は、子どもたちにどう教えたらわかりやすいか、実感できたかもしれませんね。